



制作：名城大学薬学部病態解析学Ⅰ
(近藤麻生、後藤 綾、野田幸裕)
・衛生化学(松岡史華)
監修：名城大学薬学部
NPO J-DO (鍋島俊隆)

平成 27 年 7 月 30 日 (木) 一宮市立起保育園にて 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」 「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 (NPO J-DO) は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、主に小学生を対象として「くすり」のことを知ってもらう授業や体験実験を行っています。平成 27 年 7 月 30 日 (木)、初めて保育園児を対象に一宮市立起保育園にて、学校薬剤師の濱崎光哲先生、新中友恵様をはじめとした保護者会役員の方々のご尽力により「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容にて開催しました。初めての保育園での開催でもあり、準備段階から園児にも分かりやすい・興味を持てるような「くすり教室」の内容に修正しました。当日は、保育園児 36 名、保護者約 10 名が参加し、授業と体験実験は保護者にも、とても楽しく学べたと大好評でした。



一宮市立起保育園における「くすり教室」

日時：平成 27 年 7 月 30 日 (木) 9 時 30 分～10 時 30 分

場所：一宮市立起保育園 遊戯室

内容

・「実験を始める前のお話」：Q&A 方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A 方式で保育園児が答える、園児参加型で行いました。名城大学薬学部の大学院生がスライドを使ってわかりやすく説明し、多くの保育園児が元気よく挙手して、活発に問い掛けに答えてくれました。

・「体験実験」

保育園児は 6 グループ (1 グループ 6 名) に分かれ、内容をより理解できるように、NPO J-DO の鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事、名城大学薬学部の大学院生、学部生が補助しながら、体験実験を行いました。また、保護者も園児とは別のグループで体験実験を行いました。

＜実験項目＞

1. シロップの「くすり」とオレンジジュースと一緒に飲むとどうなるのでしょうか？
2. 「こなぐすり」とオレンジジュースと一緒に飲むとどうなるのでしょうか？
3. シロップの「くすり」とお茶と一緒に飲むとどうなるのでしょうか？
4. 「坐薬」って何度で溶けるんだろう？

